

平成30年度 第7回政策推進会議報告

日時 7月20日 9時30分～10時26分

場所 4-1会議室

出席者 21人

1 指定居宅サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等を定める条例の改正(素案)に対する市民意見公募手続の結果について

2 指定障害福祉サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等を定める条例の改正(素案)に対する市民意見公募手続の結果について

健康福祉局長から資料に基づき一括して報告。

3 (仮称)水道・工業用水道ビジョンあまがさき(2020～2029)の策定に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

公営企業管理者から資料に基づき報告。

4 平成29年度企業会計決算の概要について

公営企業管理者から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

・上下水道料金の徴収率はどのような状況か。

徴収率は99%台である。2期4カ月の滞納があった場合は、給水停止するか分割納付をお願いしている。ただ、他の中核市と比較するとまだまだ徴収率には課題があるので、これから引き上げていきたい。

(岩田副市長)債権管理推進会議には公営企業局も入っているので、100%を目指して情報共有などを行っていきたい。

どうやって効率的な徴収を行うかについて公営企業局の中で検討していくが、債権管理推進会議等でも報告していく。

(市長)ポートレースについては、SGが無かったぶん収益のパイは縮んでいるが、業界全体が回復基調ということで頑張ってもらっている。30年度からは、施設の整備計画が本格化して工事が始まる。本場に来られるお客様は減る一方なので、それに合わせたコンパクトな施設を目指して老朽化したものを整備していくことになる。地域のイベント等にも少し影響が出るかもしれないが、よろしく願いたい。

5 その他

ひと咲きまち咲き担当局長から、あまらぶアートラボ「それぞれのリアル」について説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、あまらぶ体験隊「車両基地見学会」について説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、「荻原一青が描く百名城手ぬぐいのすべて展」について説

明。

公営企業管理者から、「水道通水 100 周年記念 神崎浄水場開放イベント」について説明。
各局長から、平成 30 年 7 月豪雨の被災地に対する支援状況等について説明。

- ・ 公営企業管理者 ... 岡山県倉敷市への応急給水支援（7/11～7/17）及び物資支援（7/8）
- ・ 消防局長 ... 広島県広島市への緊急消防援助隊派遣（7/12～7/15）
- ・ 医務監 ... 愛媛県宇和島市への保健師等派遣（7/20～7/27 予定）
- ・ 危機管理安全局長 ... 岡山県倉敷市への物資支援（7/16）等

（市長）救援物資については首長ベースで電話連絡が回ってくるような状況になっており、特に土嚢袋は、泥出しのボランティアがたくさん集まってくれる連休のタイミングに間に合わせなければいけないという緊急連絡だった。尼崎市内においては被害がなく平常運転になっている中で、各職員には迅速に対応していただき、大変ありがたく、また、誇らしく思う。ご承知のとおり、被災地はまだまだ大変な状況が続いているので、私たちもできる限り支援していきたい。

- ・ 経済環境局長 ... 県から災害ゴミの処分について、受入可能量の照会があった。今後、もし受入れが必要な場合は別途報告する。
- ・ 健康福祉局長 ... 市社協で募金を開始する（7/22～予定）。また、県社協から市社協への要請により、倉敷市のボランティアセンターの立ち上げ支援として既に先遣隊が入っている（7/16～7/20）。

（市長）被災地でのニーズの把握においては、普段からの繋がりが物を言う。気仙沼市に保健師さんが行ってくださったときも、地域の関係性が残っているエリアに入ったことで、「あそこを回ってほしい」という情報をたくさん貰えたと言っていた。それをいかに普段から構築していくかというチャレンジをこれからしていくので、そこまで見通して私たちもやっていきたいと思う。

（市長）災害関連で、ブロック塀の今後の対応について記者会見を行った。公共施設については学校を優先的に、流用で対応できる分は夏休み期間中に頑張り、9月補正でもしっかり対応していくという予定にしている。全ての基準不適合に対応する場合、約 6.1 億円というかなりの規模の費用がかかるが、迅速にやっていきたい。民間のブロック塀については、撤去・処分費用の 2 分の 1 かつ 10 万円を上限とする補助制度を作るので、これをひとつの機会として対応していただきたいと思っている。また、この補助は撤去・処分にしか充てられないが、その後を生垣にしてくれる方には、緑化基金を原資とする補助制度を活用していただけるように対応を進めている。

経済環境局長から、「あまがさき産業フェア 2018」について説明。（以下、質疑等）

（市長）今年度から西宮市が共催となったのは何かきっかけがあるのか。

これまでから参加はずっとされていた。西宮市でも 2 年に 1 回は産業フェアを開催していたが、今年はこちらに共催ということで、約 20 社に参加していただいている。西宮市では参加企業に出展料の助成をされている。

ひと咲きまち咲き担当局長から、総合計画キャッチフレーズ「ひと咲きまち咲きあまがさき」のロゴマークの選考状況等について説明。

以 上